

啓発プログラム

以下に紹介する啓発プログラムは、パネルなどを使って地球温暖化の影響や対策について解りやすく説明するもので、概ね小学校3年生以上を対象としていますが、大人に対しても使うことができます。

原則として、当センターから講師を派遣しますが、事前にご相談いただければ、使い方を講習いたします。

1 プログラム名：「ビビク 敏感」

<プログラムのねらい>

人間をはじめとした、様々な「温度」に敏感なものたち。それらは全て、つながりがあり、少しの温度変化で多大な影響を受けるということに気づかせる。

<概要>

「温度に敏感なもの」の写真を使いながらどんなものが温度に敏感なのかを知るため、その中のひとつである「ウミガメ」について、ツールを使ってクローズアップし、温度上昇とその影響について具体的に触れていく。

また、気温の上昇が思わぬところで問題を引き起こすことも、イラストカードなどを用いて考えてみる。

地球規模の温暖化影響事例なども示しながら、温度が上がることにより意外なところで様々なことが起き得ることを考えるプログラム。

<対象層>

小学3年生～大人

<展開状況> 約30分

温度に敏感なものの写真を見て、そこに隠されているキーワードを探る。

パネルの中の一つ、「ウミガメ」はどのように温度に敏感なのかを考える。

ここでちょっとブレイク。

何故、風が吹くと桶屋が儲かるのか？ストーリーがつながるようにイラストパネルを参加者たちで並び替えてみる。

何か事が起こると、めぐりめぐって意外なところに影響が及ぶことのたとえ」ということを感じてもらい、次の話題の布石にする。

気温が上がるとどうなるのか？ウミガメを例にとって話をつなげる。

砂浜の温度が上昇するとどうなるのか？

温暖化の影響で起きている現象の一つを写真を用いて紹介。

この現象がどのようなものにつながりがあるのか、どのような影響を及ぼすのか、ということを中心にまとめる。



<実施の様子>